

平成29年度
第2回

江東区総合教育会議議事録

平成29年11月17日（金）

江東区教育委員会

平成29年度 第2回江東区総合教育会議 議事録

- 1 開会年月日 平成29年11月17日(金) 午前11時15分
- 2 閉会年月日 平成29年11月17日(金) 午前11時50分
- 3 開会場所 江東区役所6階 教育委員会室
- 4 出席委員 区長 山崎孝明
教育委員 岩佐哲男(教育長)、進藤孝、松江恒治、眞貝裕利子、
橋本俊雄
- 5 出席職員 押田政策経営部長、石川教育委員会事務局次長、
炭谷企画課長、杉田庶務課長、谷川学校施設課長、青木整備担当課長、
油井学務課長、本多指導室長、小坂学校支援課長、
池田放課後支援課長、寺内教育センター所長、保谷江東図書館長

6 議題

- 1 江東区立有明西学園の開校準備状況について
- 2 その他

7 審議概要

石川教育委員会事務局次長 それでは、定刻となりましたので、これより平成29年度第2回江東区総合教育会議を開会いたします。

お手元の次第に沿って進めさせていただきます。主宰者でございます山崎区長、よろしくお願いいたします。

山崎区長 それでは、本日の議題に入ります。「1 江東区立有明西学園の開校準備状況について」を議題といたします。事務局より説明願います。庶務課長。

杉田庶務課長 それでは、私から江東区立有明西学園の開校準備状況についてご説明いたします。資料の1ページの下をごらんください。

1、開校までのスケジュールでございます。来年、平成30年2月23日に竣工視察、2月下旬に入学説明会を実施し、28日に学校施設の引き渡しとなります。以降、3月中に備品等の納入を行い、4月9日に入学式を執り行う予定でございます。

1枚おめくりいただきまして、2ページをごらんください。2、工事の進捗状況でございます。10月末時点の写真でございまして、工事の進捗率は約83.3%、来年2月の竣工に向けて工事を進めております。

2ページの下をごらんください。3、有明西学園の教育でございます。学校のコンセプトを「9年間の一貫教育で子どもたちの『生きる力』を確かに育みます」といたしました。子どもたちだけでなく、教職員、保護者、地域など、子どもたちの教育に携わってくださる方々が強い絆で結ばれた一つの家族であるという思いを大切にしたいと考えて、Ari-nishi Familyと表してございます。このAri-nishi Familyで子どもたちを育て、学校づくりを進めていきたいと考えております。

3ページをごらんください。有明西学園の通学区域では、多くのオリンピック・パラリンピック競技が行われます。既に世界中の多くのアスリートたちが夢の実現のために有明の地を目指しています。舞台となる有明西学園では、子どもたちの「主体性」、「確かな学力」、「夢」を育み、また木をふんだんに使った学舎で「やさしさ」、「あたたかみ」といった心を、そして全ての教育活動を通して「生きる力」を育てていきます。

続きまして、有明西学園の特色でございます。学年の区分につきましては、9年間を見据え、6・3制の学習指導要領をもとに学習を進めながら、5年生から一部教科担任制を行うなど、柔軟に考えてまいります。授業の工夫につきましては、次期学習指導要領が目指す、子どもが主体的に学び、考え、表現する問題解決型の授業を核とし、子どもたちの確かな学力を身につけていきます。英語教育の充実につきましては、有明西学園の周りでは、オリンピック・パラリンピックの会場や英語村などをはじめ、外国語を学び、生かせる環境がございますので、学校として9年間を見据えた英語教育を充実させていきます。前期課程の1年生から他校よりも多く外国語に触れる計画を立てていく予定です。

1枚おめくりいただきまして、4ページをごらんください。思いやりの心の育成につきましては、1年生から9年生までがともに行う活動、縦割り班活動や、地域や社会との関わりを大切にする活動を通して、子どもたちに思いやりの心を育てていきます。ICT機器の活用につきましては、各教科等の授業において、ICT機器の効果的な活用を進めるとともに、子どもたちの情報活用能力を高めることを目指します。部活動の実施の工夫につきましては、子どもたちの主体性、個性の伸長を重視します。また、部活動の内容等に応じて、5年生段階から参加できるように対応してまいります。

4ページの下をごらんください。有明西学園は教育を家庭、地域、社会に開き、つながりを大切にし、学園にかかわる全ての人々が育ち合える地域コミュニティの中心となる学校を目指します。そして、未来を見据え、新たなことに挑戦してまいります。

5ページをごらんください。4、特別支援教室でございます。特別支援教室「ひまわり教室」では、発達障害のある児童に週1時間から2時間程度、個別指導や小集団での指導を行っています。有明西学園の指導

体制につきましては、前期課程は有明小、東雲小とグループをつくり、有明西学園の先生が3つの学校のひまわり教室で指導いたします。有明西学園だけでなく、平成30年度までに区内全小学校にひまわり教室を導入しますが、指導効果としては、資料にありますように、在籍校で指導を受けるため、多くの児童が支援を受けられるようになる、個別及び小集団での指導を通して、児童の学力や学級における対応能力の伸長を図ることができるなどが挙げられます。平成31、32年度で全中学校にも導入予定であり、有明西学園でも31年度以降、後期課程においても特別支援教室での指導を行う予定です。

5ページの下をごらんください。5、通学区域でございます。前期課程の通学区域は、有明一・二丁目のゆりかもめが通る環二通りより西側の地域と、有明三・四丁目及び青海全域となります。後期課程は前期課程の通学区域に豊洲六丁目を加えた地域となります。

1枚おめくりいただきまして、6ページをごらんください。6、学校選択制度でございます。有明西学園の学校選択制度上の取り扱いは、基本的に他の小中学校と同様となります。右上のピンク色の枠に記載がございますが、具体的には通学区域外から入学を希望される場合、前期課程は児童の足で徒歩30分、距離にして2キロメートル以内の範囲にお住まいの方が通学を希望できます。後期課程は区内全域から選択を希望することができます。有明西学園へ無抽選で入学可能となります。特例につきましては、①転入予定者の特例として、入学前、または入学後1年の間に通学区域内に転入が確実な場合、②後期課程の通学区域である豊洲六丁目にお住まいの方の特例として、学校選択制度を利用して、有明西学園前期課程の1年生から入学を希望された場合は、無抽選で入学を認めるものです。また、平成30年度限りの特例として、③開校時の転校の特例がございます。学校選択制度を利用して有明西学園に入学する児童生徒の兄弟姉妹が有明西学園へ転校を希望するときはこれを認めるものです。

なお、通学区域外のゆりかもめより東側にお住まいの方からも、有明小から有明西学園への転校を希望いただき、検討した結果、有明小学校が各学年2クラス確保できる範囲で有明西学園への転校を認めることといたしました。この範囲を超えた場合は抽選となります。最終的に有明西学園へ通う児童生徒が決定するのは1月上旬となる予定です。

6ページの下をごらんください。7、標準服でございます。前期課程、後期課程ともに全学年で標準服を採用することにいたしました。後期課程の7年生から9年生までは他の中学校と同様、全員標準服を着用とします。ただし、8・9年生については、現在、通学している学校の標準服を着用することも可能とします。前期課程につきましても、全員原則標準服を着用とします。ただし、来年の開校時に有明小学校などから転校する2年生から6年生までにつきましては、ご事情により、どうして

も標準服の着用が難しい場合は、標準服に準じた服装を認める予定です。

7ページをごらんください。8、通学路でございます。今年の6月に湾岸警察署と一緒に現地を確認いたしまして、協議を重ねてまいりました。資料に記載のルートは、現時点で警察と協議が整っているものです。初めに、3棟のブリリアマンションからの通学ルートですが、それぞれ赤、青、緑で示しました。黄色の星印の箇所に横断歩道がございますが、ここにストップさんを配置する予定です。また、時期は未定ですが、湾岸警察より、ピンク色でお示した、学園の東側の校門前の箇所に横断歩道を設置したいとの話ございました。できれば、押しボタン式の信号もつけたいとのことでございます。ここも横断歩道ができましたら、ストップさんを配置いたします。

7ページの下をごらんください。豊洲六丁目からの通学ルートにつきましては、徒歩ルートとして2つの案を検討いたしました。首都高速の下を通る赤色のルート案①は東雲運河の橋を渡った後、最初の交差点を右に渡り、そのまま直進して有明西学園へ進みます。星印で示したストップさんは、この交差点と有明テニスの森駅の横断歩道に配置します。もう一つの緑色のルート案②は、ゆりかもめに沿って新豊洲駅交差点を豊洲市場方面に渡って直進し、新市場駅で左折し、有明テニスの森駅の交差点を右に渡って、有明西学園に進むルートです。ストップさんは新豊洲駅と有明テニスの森駅の横断歩道に配置します。ルート案①は高速道路の下が長い坂となっており、自転車がスピードを出しやすいため、接触事故の危険性が少し懸念されますけれども、一方、ルート案②は市場の駐車場出入口が3カ所あり、自動車との接触の危険性があること、人通りが少なく、防犯上好ましくないこと、ルート案①より距離が長く、児童・生徒に負担がかかることなどの複数のマイナス面がございます。このような状況からルート案①を採用する方向で考えております。

1枚おめくりいただきまして、8ページをお開きください。公共交通機関を使った通学ルートでございます。本来は徒歩通学を基本といたしますが、オリンピック・パラリンピックに関連する工事などにより、トラックの通行量が増加することが予想されますので、児童・生徒の安全を考慮し、ゆりかもめ及び都バスを使っての通学を認めることとしております。ゆりかもめルートは緑色で、都バスルートは濃い青色で示しております。

8ページの下をごらんください。9、江東きつずクラブ有明西でございます。江東きつずクラブ有明西はA登録とB登録を設置し、対象児童等につきましては、記載のとおり、他のきつずクラブと同様でございます。A登録は空き教室を利用するため定員を設けておりませんが、B登録は専用のスペースを使用いたしますので、定員100名程度を予定しております。

9ページをごらんください。10、学校説明会開催結果でございます。

日時は10月18日、午後7時5分から8時15分まで、会場は有明小学校の体育館で開催いたしました。出席者は教育委員会事務局の関係理事者及び有明小・中学校、深川第五中学校の校長・副校長で、説明会の周知は通学区域在住の保護者、有明小・中学校の学校評議員、豊洲地区の町会自治会、近隣の幼稚園・保育園へ行いました。来場者数は約600名、内訳は保護者約370名、地域と一般の方が約230名で、小学校の体育館はいっぱいの状態でした。内容は、本日の資料の内容と、その前に、施設の概要について、もう少し詳しく説明いたしました。多数の方がご来場されて、新校への期待が非常に高いと感じました。皆様の期待に応えられるように、開校に向けて教育委員会事務局一丸となって進めてまいりたいと思います。

説明は以上です。

山崎区長 本件について質疑を願います。進藤委員。

進藤委員 10月18日に開催されました学校説明会の会場の雰囲気や来場者の様子はいかがでしたでしょうか。また、質疑応答ではどんな質問がありましたでしょうか。よろしく願いいたします。

山崎区長 庶務課長。

杉田庶務課長 先ほどもご説明しましたけれども、約600名の参加で、体育館いっぱいでした。こども連れや夫婦での来場も多く、皆さん熱心に聞いてくださって、期待の高さを感じたところです。中学校から借りて用意していた椅子が足りなくなって、さらに追加した状況でした。

主な質問としては、学校選択制に関する質問がとても多くて、豊洲六丁目は希望すれば全員行けるのかですとか、豊洲二丁目とか、東雲一丁目からは行けるのかというようなご質問がありました。豊洲二丁目については、2番から4番であれば範囲内なのでオーケーです。東雲一丁目はオーケーですというお話をいたしました。

また、質問というよりは意見でしたけれども、標準服について、小学生の標準服は自宅で毎日洗えるなど、成長が著しく、動き回る時期であることを配慮してほしいというような意見がありました。

それから、英語教育ですとか部活動に関する質問も幾つかありまして、皆さんの関心の高さが伺えました。

以上です。

山崎区長 松江委員。

松江委員 学校の特色化について伺いたいと思います。有明西学園は区内初の小中一貫教育に取り組んでいくわけであります。有明西学園は、ここが違う、ここはこういう魅力があるんだ、あるいはこの方面の力がついて伸びるよと、そういった、いわゆる売りの部分を声を大にして言うべきであると思います。そうした売りの部分はどんなところと考えているのか。また、そういった部分をはっきりと内外にアピールして、学校の魅力化につなげていく必要があるのではないかと考えますけれども、この点についてどう考えていますか。

山崎区長 指導室長。

本多指導室長 まず、有明西学園は義務教育学校であるということ自体も大きな特色であると思いますし、すばらしい大きな校舎、それも大きな特色と思っています。しかしながら、オリンピック競技会場の中心地にありますので、今後、世界中からも視察に来られる方がいらっしやると考えますと、しっかりとした特色化を進めるとともに、教育を充実させていかなければいけないと考えております。先ほど庶務課長からも説明がありましたけれども、特色といたしましては、前期課程からの英語教育の充実、前期課程における一部教科担任制の実施、それからICT教育の推進というものが大きいと考えております。

また、1年生から9年生までが同じ学び舎にいることを効果的に活用した縦割り班活動などを行いながら思いやりの心の育成にもしっかりと取り組んでいきたいと考えております。

また、部活動については、まだ決められないところもありますけれども、オリンピック、新たな競技が近くで実施されるということもありますので、そういったことも意識した部活動についても検討していきたいと考えておりますし、また木をふんだんに使った校舎となっておりますので、環境教育にも力を入れていきたいと考えております。

特にその中でも、英語、ICTについては、外部から見ても特色とわかっただけのように進めていきたいと考えています。現在、教科担任制では今後、講師の配置やJETの活用、それから、ALTの配置などについても、今、予算化に向けて検討しているところであります。特にICTについては、全教室へのプロジェクター等の環境配備が不可欠であると考えてございます。先日の周年行事式典で、区長も小名木川小学校に行ってくださいましたが、やはり環境が整備できている小名木川小学校の先生方も、こどもたちも日常的にICT環境が使えるようになっておりますので、有明西学園における環境整備についてはしっかりと考えていかなければいけないと考えております。

いずれにつきましても、世界中からの注目を浴びる学校だという意識をしながら、しっかりと取り組みを進めていきたいと考えております。

以上です。

山 崎 区 長 ほかにどうですか。眞貝委員。

眞 貝 委 員 開校準備状況についての6ページに、標準服についての記載がございますけれども、また説明会等で標準服についての要望があったと聞いております。標準服は児童・生徒が毎日着用するものですので、機能的、耐久性などの面からもよく検討していただきたいと思います。小学校の段階から原則標準服を着用するということですが、現在の検討状況はいかがでしょうか。また、小中を通して同じ標準服にするのか、前期課程、後期課程を違う標準服にするのかをお伺いしたいと思います。

以上です。

山 崎 区 長 学務課長。

油 井 学 務 課 長 現在、教育委員会事務局職員と学校長を含めました検討組織を立ち上げております。9月に標準服の提案事業者を募集しまして、10月に事業者は決定をしております。また今回、標準服を導入するに当たりましては、アンケートを保護者の方から取らせていただきました。その中で、ご要望が多かったのは、やはり小学校段階から標準服を導入することですので、成長が著しい時期ですので、子どもたちが動きやすいものがあるのか、また、洗濯ができるかどうかなど、そういったご心配をされている方が多くいらっしゃいました。保護者の方のご要望を取り入れながら、素材やデザインなどを今後決めていきたいというふうに考えております。同じ標準服にするのか、デザインを変えるのかといったことも、今後、この検討の中で進めていきたいと思っています。

今後のスケジュールとしましては、現在、具体的なデザインを検討しているところですので、年内には決定をして、年明けには公表ができればというふうに考えております。

以上です。

山 崎 区 長 どうですか、ほかには。橋本委員。

橋 本 委 員 通学路についてお聞きしたいのですが、通学路について、有明西学園の前に横断歩道が設置されるとお聞きしました。これはすごく喜ばしいことだと思っております。より早い時期に設置していただければと思います。豊洲六丁目からの通学は交通量がより多くなり、渡る交差点がかなり交通量が多いので心配であります。無事故であることが何よりのことだと思っておりますので、ストップさんを効率よく配置していただくとか、また、今はだんだん日が短くなってきて帰り道が暗くなる、行き

よりも帰りのほうがかなり心配でありますので、街路灯とかはどうなっているのかなということとか、交通機関を使用した場合、都バスとか、混雑しますので、ほかの利用客の方の迷惑にならないのかどうか。また、小さい子どもがバスに乗ったり、ゆりかもめに乗ったり、乗り切れるのかどうか、心配ごとが多いと思います。その辺、どうお考えになっているのかお聞きしたいと思います。

山 崎 区 長 庶務課長。

杉田庶務課長 校門前の横断歩道については、湾岸警察と引き続き連絡をとって、早期設置を目指したいと思います。通学の安全については、ストップさん、通常各校2カ所ですけれども、4カ所配置できるように予算要求をしております、内々ですが、配置できる予定でございます。それから、都バスでの通学は、小学生として公共交通機関で通学を認めるのは初めてなので、他人に迷惑をかけないようにご家庭ではもちろん、学校でも公共交通機関の利用の仕方を指導する必要もあるのかなと考えております。また、マンションごとなどでまとまって登校するというようなことで低学年の子も一緒に通学できるかなと思っております。ただ都バスにつきましては、私も朝の時間を見に行きましたけれども、かなり混んでおりますので、できればゆりかもめに乗るほうがいいかなと、安いですし、と思っております。その辺りは学校と連携しながら相談していきたいと思います。

それから、街路灯につきましては、基本的に各道路にセンサーで暗くなるとつくような街灯がついておりますけれども、さらに細かく見まして、もしちょっと暗いようなところがありましたら、関係所管に調整を図っていききたいと思います。

以上です。

山 崎 区 長 はい。岩佐教育長。

岩佐教育長 先ほど庶務課長のほうから報告もありましたけれども、10月18日の日に学校説明会が終わりまして、開校まであと残り4カ月というところになりました。準備段階も最後のステージという形になりますので、今、事務局の中で、本年の2月に立ち上げた開校準備調整会議、これを継続して進めているところですが、改めてスケジュールの進行確認、それから手続等について再確認を行って、遺漏がないように手続を進めていきたいと思っています。

有明西学園の一つの特色でもあります、学校の隣にBMXの会場がこれからできてくる、それから体操の競技場ができてくる。競技会場としては有明コロシアムがあるし、アリーナもあります。そういう恵まれた

地理的な環境を生かして、オリパラ教育のほうにも力を入れていけるような学校にしたいと思っております。

以上です。

山 崎 区 長 そうですね。時間がもう迫ってきているので、決めるべきことは早く決めていかななくてはならないし、説明会でたくさんの方が来たということは相当関心が高いんだと。学区域内の人は当然入学するだろうけど、学区域外の人も相当来ているので、有明小・中から新しい学校へ行きたいというご意見も大分あって、選択制の問題の特例とか、いろいろ教育委員会も苦勞しているように感じます。有明地区は、従来の街並みと違って、極端に言えば、いわゆるマンション族だけです。だから、皆さんもご存じのように、マンションに入っている人たちは横の連携がない、あるいはコミュニティーがない、助け合いの精神が薄い、あんまり悪く言うてはいけないけど。そういったところで、親がみずからの主張を述べるだけで、みんなが一本化されるということはほとんどない。言ってみれば自分たちの思いというか、わがままとか、それだけを主張するようなどころがあるので、非常に難しいと思います。それを教育委員会がどうやって、事務局が理解していただくように上手に持っていかうかが、開校に当たっての大変なことだと思います。学校選択制や標準服について、いろんな意見が出ているようですから、それをまとめていくのは、事務局。大分苦勞するだろうけれども、しかし、もう来年4月にはオープンなので、しっかりとその辺をご理解いただきながら、あまり激しい反対というか、いろんな意見が出ないように上手にお願い、説明をしていかないといけないと思うんです。また学校がコミュニティー、マンションごとの、同じマンションだってコミュニティーないわけだから、3階と10階は違うし、もう本当に一つのマンションでもコミュニティーがなかなかつくりづらいところですから。私もマンションに住むようになって、いろんな現場を見てきました。例えば、私の住んでいるマンションの例を言うと、マンションの自治会で要望が出て決めたことは、マンションの親がハロウィンパーティーをやらましよう。協力してくれますか、それからお菓子を出してくれますかというチラシが各部屋に回ってきて、そうしたら、そんなに大きいマンションじゃないんだけど、あらかたの人が賛成をしてくれました。こどもたちは各部屋を回ってお菓子をもらえると。そういうことから親同士が友達になるというようなことが、そのコミュニティーのスタートになる。それが一つには学校なんです。四砂小に行っているお母さんたちが先頭に立ってまとめてくれているわけだね。

だから、有明はもう800戸だ1,000戸だというマンションで、なかなかそれができないと思うけれども、しかし学校というものがリードして、親たちのコミュニティーをつくることのできるようになった

らば、学校もよくなるし、こどももよくなる。地域がよくなるんです。その辺をどうやって、PTAもいづれつくってもらわなきゃならないし、有明小・中の場合にはなかなかできなかった。豊洲西はすぐにできたんだっただよね？

岩佐教育長　それでも1年ちょっとかかりました。

山崎区長　そうか、そうだね。だから、そういうことも気を遣いながらやっていかないと大変だと思うよね。せっかく新しい一貫校ができるのだから、お手本になるように、ただ、お手本といっても地方の一貫校、都内でもあるんだけど、ここは特別だからね。マンション族だけだから、極論をすれば。マンションだって4つ、5つ。これをまとめるのはなかなか大変ですよ。でここは有明マンション連合協議会というのがあって、会長さんが一生懸命、先頭に立ってやってくれているんだけど、それだって、入会する人はごくわずかです。ですから、そういう人たちもどうやって取り込むかというのも——会長さんは説明会に来ているのかい？

杉田庶務課長　説明会はいらっしゃることができなかったのですが、事前にお電話したときに、マンションに説明会のチラシを貼ってくれたりなど、ご協力いただきました。

山崎区長　協力はしてくれている？

杉田庶務課長　はい。

山崎区長　大変なことです、ぜひ、我々に失敗は許されないわけですから、しっかりと頑張ってくださいと思います。

それでは、本件については終了いたします。

2番のその他ですが、何かございますか。

松江委員。

松江委員　先ほどから特色について伺いました。この資料の4ページ、有明西学園の特色②のところに、こどもたちの情報リテラシーを高めることを目指すと、こういう記述があります。前回の総合教育会議のときに私はメディアリテラシーということについて、ちょっと意見を言わせていただいたんですけども、ここでいう情報リテラシーというのはどういうものなのか、またそれを高めるということはどういうことなのか、そしてこどもたちに何を身につけさせようとしていくのか、そこを伺いたいと思います。

本多指導室長 ありがとうございます。ここは当たり前のように使えるようにするということです。今年、各学校にタブレットPCが86台入りました。そういったものも含め、ICT機器を、こどもたちが今までのノートと同じような形で当たり前のように使えるようにすることが大切です。ただ、情報を活用していく部分では非常に危うい部分もあります。そういった部分を含めた両面、使うスキルもそうですけれども、やはりそれを使うのは人間ですから、情報モラルのことも含めてしっかりとやっていきたいと思えます。

 以上です。

山崎区長 よろしいですか。

松江委員 はい。

山崎区長 では、その他、庶務課長。

杉田庶務課長 特にございません。

山崎区長 以上で終了したいと思います。それでは、皆さんご苦労さまでございました。これで会議を閉じます。ありがとうございました。

— 了 —